



舞鶴市立明倫小学校
令和6年9月30日

10月号



「環境づくり」

例年のない猛暑も9月下旬になってようやく治まり、日一日とさわやかな秋風に包まれるようになってきました。今年度の後半がスタートします。

秋は様々な行事や活動を通して、子どもたちの心身を鍛える最適な季節です。

今、子どもたちは運動会に向け、集団演技や競技の練習にまだ暑い日差しの中ではありますが、元気に取り組んでいます。今年度は新たなプログラムに全校での演技「全校なかよし明倫ソーラン」としてソーラン節を踊ります。練習では、1年生から6年生の少人数での異年齢集団「たなべ班（全12班）」に分かれ、班の6年生がリーダーとなって取り組んでいます。初めて全校一斉に演技する子どもたちの姿を楽しみしててください。

毎日、何気なく当たり前のように過ごす家庭や学校での生活は、子どもの成長に大きな影響を及ぼします。

例えば、学校がきれいに掃除されているとすっきりした気持ちで学校生活が送れます。温かい言葉や美しい音楽を聴くと、心が落ち着きます。穏やかな表情があると優しい気持ちになります。このような環境こそが子どもの心の安定につながっています。

反対に、周りが雑然としている、常に騒々しい、きつい言葉が飛び交うといった環境では、子どもは集中力を欠いたり、けがをしたり、人を傷つけたりすることも多くなるものです。

環境が人をつくりますが、環境をつくっているのは人です。掃除をすること、整理整頓をすること、様々な文化（音楽、芸術などの文化、言葉や習慣等の文化など）に触れること、今の周りの環境に目を向け行動することや自分自身の環境を見つめることは、子どもの成長にとってかなり大切なことであるように思います。

「スポーツや文化の秋」と言われます。学校でも運動会、マラソン大会、音楽集会など秋にふさわしい行事を行います。これらの行事は、日々積み重ねた練習の中で成長した姿を保護者や地域の皆様に披露する機会です。子どもたちの成長した姿をご参観いただき、子どもたちの温かい環境をつくる一員として、お声掛けいただきますようよろしくお願いいたします。

今学期も子どもたちが意欲を持ち、頑張り続けられますよう学校でも励ましながら取り組んでいきたいと考えています。ご理解と変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

校長 井上 啓



校長室から見える秋の雲（巻雲）